



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

6月号 JUN 2017

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



府県順調入荷を期待 29年産北海道玉葱も定植順調

6月に入りました。「6月」にもつイメージ。皆さんは如何でしょうか？国民の祝日が無い。梅雨の時期でじめじめしている。マイナスのイメージが多いような気がします。しかし6月は農業にとっては非常に大切な月であったようです。6月は陰暦で水無月とも言います。ちなみに陰暦とは旧暦とも言いますが、現在多くの国で使われている太陽暦とは対義となります。月の満ち欠けを基準として定められた暦です。太陽暦とは異なり、1年を354日で計算します。その陰暦での6月は左記の通り水無月と言います。水無月の語源は、田んぼに水を引く月であるということから来ているそうです。（一説です）陰暦で農業関連の言葉はもう一つあり、「皐月」です。皐月の「さ」は耕作を示す言葉とのことで稲作を始めるために畑を耕す月という語源があるそうです。その他にも日本では江戸時代から生活暦として使用されている二十四節気でも6月6日は「芒種」と言われる日となっています。この日は穀物の種をまく日とされており、農家さんでは昔から田植えの日の目安とされてきました。このように6月は昔から農業と深い関わりがあった月なんですね。ちなみに私の誕生日も6月で農業と関わりある月の生まれです(笑)

6月1日現在、マルト商事には多くの産地様から玉葱が入荷しています。5月中には弊社パートナー産地様を各担当が訪問し、出荷前目揃えをさせて頂きました。お忙しい中ご協力頂きました産地の皆様誠にありがとうございました。今期は既報の通り府県産玉葱の産地分散化を図っております。大勢で行くと昨年、一昨年のような凶作の話は今のところ聞こえていません。中部以西は定植の遅れはあったものの、病気の混入についてはしっかりと防除を行い、全体収量としては平年並みか若干少ない程度。以北は干ばつの影響により小玉傾向で収量は減少ですが、凶作とまではいかないと思われます。全般出荷量ベースでは平年を若干割る程度で収まるのではないのでしょうか。

しかしながら気になるのが貯蔵タイプの玉葱です。7月・8月出荷の玉葱。特に2Lサイズが少なくなる傾向がありそうです。当然収穫量が減少していれば大玉サイズは少ないということではあるのですが。

再三お伝えしている通り、九州地区では定植作業が遅れておりました。現在は中晩生種の収穫真っ最中となっているかと思えます。ここからは梅雨入りとの闘いです。例年九州北部地方の入梅は過去の統計によると6月5日となるそうです。現在のところまだ入梅の発表は沖縄・奄美を除いてありません。雲の動きからすると6月7日前後に九州での入梅のタイミングとなりそうです。梅雨に入る前に生産者様は玉葱収穫をひと段落させたいところであると思えます。一方関東の入梅は平年6月8日とのことです。今年に入ってから関東は降雨が少ない状態が続いています。ここ数年のようなゲリラ豪雨は勘弁ですが、適正な雨量確保のためにも平年並みの入梅・梅雨明けを期待したいものです。

29年府県産玉葱の状況はまだ全て見えているわけではありませんが、何とか平年で収まることを期待しています。そして次産地となる北海道。ここ数年は府県産玉葱数量が少なかったことから7月後半・8月前半に出荷される北海道産の早出し玉葱が注目されつつあります。28年産は台風が北海道を何度も襲ったことから作柄が注目されましたが、弊社では現在も北海道産玉葱を貯蔵使用しており、品質面含め非常に良好な状態が続いております。日本の玉葱生産の60%を占める北海道産玉葱の安定化は弊社にとっても最重要事項です。5月24日～26日にかけて、29年産北海道玉葱の状況を伺いにパートナー産地様を訪問してきました。北海道玉葱は例年GW明け頃までに各産地定植作業が終了となります。この定植作業の終了時期は今期の玉葱状況を左右する大きな分岐点であると弊社では考えています。今年は各産地雪解けも早く、定植スタートも概ね例年より早いタイミングで行うことができたそうです。終了時期もほぼ計画通りに推移しており、まずは第一関門クリア！ということで各生産者様皆、ほっと胸をなでおろしていたところでした。定植後も適度に雨が降り、畑の様子はほぼ順調に感じました。前述の通り、定植を予定通り終えることは非常に大切です。収穫までの期間、特に収穫前に天候異変等が起こった際のリスクが軽減されます。昨年の台風も同様です。28年産も順調に定植は終了していました。よって台風の時期までにはある程度玉が太っており、豊作傾向が見えていたため、収穫期に襲来した台風は大きく被害をもたらしましたが、玉葱の生育には大きく影響が出なかったのではと考えられます。

ここ数年各地で猛威を振るう天候災害ですが、今年は何もなく平穏な一年となることを心から願うばかりです。そして玉葱にとっても良い年回りとなりますように！！

営業課長中村のマルチ便PLUS！ Ver2017



今月もどうぞよろしくお願いたします。
6月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします！

取扱産地	産地状況&今後の見通し
国産	入荷品質良好です。北海道を一部使用しており、今季はテスト的に7月も使用します。今のところ品質とても良いです。府県産については一部大きすぎる産地もあるくらい、大玉傾向での入荷となっておりますが、このあと干ばつエリア、定植遅れの中晩生についてはサイズダウンを見込んでみます。品質は良いです。
中国	入荷品質良好です。雲南省は終盤となり、次産地山東省への切替準備を進めています。山東省は作付面積減少という情報もありますが、生育順調。ただ、先週は現地気温40度超えの日もあったようで、品質心配な面もあります。価格は安定しています。
NZ(黄玉、赤玉)	入荷品質良好です。とくに赤玉葱絶好調ですので、注文お問い合わせどしどし受け付けております！

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315